

# 投稿要綱

## Yonago Acta medica Instructions for Authors 2006



### 概 要

#### 原稿の様式

1	用 紙	3
2	書 式	3
3	原稿の構成	3
4	Title page	3
5	Abstract page	3
6	Text pages	4
7	Acknowledgments	5
8	References	5
9	Tables	7
10	Legends for Figures	7
11	Figures	7
12	略語(Abbreviations)	8
13	電子テキスト・オンライン投稿	9

### 付 録

Table 1.	List of abbreviations	10
Table 2.	SI prefixes, symbols & factors	10
Table 3.	SI and related units	11
Table 4.	Statistical symbols	11
Table 5.	Japanese selections from the list of journal indexed for MEDLINE users	12
Figure 1.	Organization of Faculty of Medicine and related institutes 2006	13

## 概 要

1) Yonago Acta medica は鳥取大学医学部が年 4 回発行する。著者は原則として鳥取大学医学部および附属病院に所属する研究者であること。他に本学医学部教授の推薦があれば原稿を受け付ける。

2) 各号の投稿締切予定日と発行予定月は以下の通りとする。

号	発行予定月	原稿締切予定日
1	3 月	12 月 20 日
2	6 月	3 月 20 日
3	9 月	6 月 20 日
4	12 月	9 月 20 日

3) 原稿は編集委員長 (鳥取大学医学部図書館内) あて電子テキストを提出する。当該論文の新知見を明記した編集長宛のカバーレターを添える。電子テキストは電子メール添付またはメディア交換媒体で提出する。

4) 原稿は review articles (5000 語まで), original articles (4000 語まで), patient reports (4000 語まで), short communications (800 語まで) に区分する。Short communication の図表は各 1 枚を上限とする。

5) 原稿は査読・改訂後、最終稿を編集委員会の指定する英文校閲者の校閲へ付す。

6) 原稿の著作権・出版権 (インターネットでの公開を含む) は Yonago Acta medica 編集委員会に帰属し、Yonago Acta medica に関する著作権使用料は鳥取大学医学部の収入とする。投稿者は、当該事項を承諾のうえ投稿申込書に自署を行うものとする。共著者がある場合は、全員が署名する。

7) 校正は 2 回までとする。校正は原則として 48 時間以内に行う。校正時の原稿訂正はしない。

8) 必要経費を請求する。

9) 学位論文の場合、主任教授の校閲印を投稿申込書へ押印する。事務的事項は投稿申込書へ記入する。投稿申込書はオンライン版掲載サイト (医学部分館ホームページ：<http://lib.med.tottori-u.ac.jp>) からダウンロードする。

## 原稿の様式

### 1 用紙

- 1) A4 用紙, 又は国際規格版(216 x 279 mm)を使う.
- 2) 上下左右の余白は, 2.5 - 4 cm 程度とする.
- 3) 1行 60 字程度, 1 ページ 25 - 27 行で 300 語前後とする.
- 4) 第 2 ページから右上角にページ番号を入れる. **当ページのヘッダースタイルを参考にする.** 図へはページ番号を入れない.

### 2 書式

記号なども含め日本語の書体・  
フォントを使用しない

- 1) ダブルスペース(表は除く)
- 2) 10 ないし 12 ポイントを使用する.
- 3) 欧文書体でタイプする.  
Times New Roman, Arial 等を使用することが望ましい.

### 3 原稿の構成

各部門には改ページを行う

- Original article 原稿は次の構成とする.
- 1) Title page (See 4)
  - 2) Abstract, Key words (See 5)
  - 3) Text (See 6)
  - 4) Acknowledgments (See 7)
  - 5) References (See 8)
  - 6) Tables (See 9)
  - 7) Legends for figures (See 10)
  - 8) Figures (See 11). これは別添とする.

### 4 Title page

次の構成とする.

Taro Tottori and Hanako Yonago  
付図参照(Fig. 1: pp. 13-14)  
最初の 1 文字は大文字  
Abbreviations: EOG, electro-  
oculography; MR, magnetic reso-  
nance; STZ, streptozotocin

- 1) 表題. **副題がある場合は**, コロンに続け副題を打つ.(ダッシュは使わない)
- 2) 著者名. 例のように full name を打つ (学位等は書かない)
- 3) 所属等.
- 4) Running title. 40 文字以内へ納める.
- 5) 著者使用略語リスト. Alphabet 順. (12.5 参照)

### 5 Abstract page

Abstract の見出しは付けない.  
structured abstract の形式は取  
らない

#### 5.1 Abstract

- 1) One paragraph 構成とする.
- 2) Short communication では 150 語以内, 他は 250 語以内とする.
- 3) Abstract には**略語・科学記号**できる限り使用しない.
- 4) 図表・**文献**を直接引用しない.

#### 5.2 Key words

electrooculography; magnetic  
resonance; streptozotocin

- 1) 5 項目までをアルファベット順に小文字で並べる.
- 2) 各 Key word 間はセミコロン(;)で区切る.
- 3) Key words は, MEDLINE/Pubmed の見出し語・**Medical Subject Headings (MeSH)**から選択する. MeSH 用語を調べるには **PubMed** へアクセスし, **PubMed Services** 中の **MeSH Database** を選択する. 分館ホームページ上にもリンクがある.

MeSH is NLM's controlled vocabulary  
used for indexing articles for  
MEDLINE/PubMed.  
[NLM =United States'  
National Library of Medicine]

PubMed Services > MeSH Database [to find MeSH Terms]  
[www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi) >  
[www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?db=mesh](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?db=mesh)

## 6 Text pages

- short communication を除く — 6.1 Text の構成
- Introduction の見出しは付けない — 1) Introduction
- 2) Materials and Methods  
(Subjects and Methods, or Experimental Procedures)
- 3) Results
- 4) Discussion (場合によっては, Results and Discussion)
- 6.2 小見出し (subheading)  
Materials and Methods と Results は小見出しをつけ section に分けて書く。小見出しへは番号を付さない。
- 6.3 Style guide
- 和文のように行末 (英文では右) を揃えない。 — 1) 行末調整  
投稿原稿では行末調整をしない。
- 例外: 句読点が続く場合。  
% と °C は数字に続けて打つ。 — 2) スペース  
文中の単語と単語の間, 数字と単位の間, 句読点等の後はスペースをおく。
- 例外: anti- — 3) ハイフン  
a 行末で単語をハイフンで区切らない。  
b 接頭辞, 接尾辞を示すハイフンは原則として付さない。  
c 形容詞的に使われるラテン語にはハイフンは付さない。  
d 範囲を示すハイフンには, ハイフンでなく n-dash を使用する。前後にスペースをおかない。
- in vitro methods; post hoc hypothesis — 4) コンマ  
and や or を使って名詞を羅列する場合, and や or の前にコンマは付さない。
- 5–10 mL; 200–800 pg/mL — 5) 数字  
a 単位の前にくる数はアラビア数字で表記する。  
b テキスト文中で文頭に数字が来る場合, 数字, 単位の両方ともつづる。図の説明文はアラビア数字で始めてよい。  
c 他の場合, 数の表記には原則としてはアラビア数字を使用する。著者の文体による数詞の使用は尊重する。  
d 文中で羅列する項目に番号を付す場合はローマ数字小文字を使用する。
- A, B, C and D — 6) 括弧  
a 括弧は{... [... (...). ...]}の順番で並べ(... (...). ...)のような同種類のものを並べない。
- アラビア数字で書き始めない — b 引用語・引用語句を括弧で括る場合, 括弧の前後にスペースを入れる。  
c 括弧内では, 始まりの括弧に続けて引用語・引用語句をタイプする。また引用語・引用語句に続けて終わりの括弧をタイプする。
- アラビア数字と綴った数詞を不注意に混在しない。 —  
i); ii); ... iv); v); ... ix); x) ....
- Smith.(2005).reported that .... —  
... (Fig. 1) ... , ... (P < 0.01) ... —  
... (Smith et al., 1994) ...

7) イタリック

a 学名はイタリック体とする。

in vivo, et al. など

— b 学名以外のラテン語は、普通書体(ローマン体)とする。

8) 国名

原則として省略しない。国名が長くて省略形がよく知られている場合は省略してよい。イギリスは United Kingdom とする。

9) 化学物質・器具・製造会社の引用

Co., Ltd. など会社の形態を示す語は入れない。会社名(固有名詞)は、始まりの文字を大文字とする。例外 = 頭文字で構成された会社名

— a 製造会社の名と所在地は次の要領で示す。  
 合衆国内(メーカー名, 所在都市名, 州名 2 文字)  
 合衆国外(メーカー名, 所在都市名, 国名)  
 同一メーカー名を繰り返す場合, 都市名, 国(州)名は略す。

商品名(固有名詞)の始まりの文字は大文字

— b 化学物質名は、一般名を使う。商品名が必要な場合は商品名をカッコ内に書く。

— c 登録マーク(®)・登録商標マーク(™)・著作権マーク(©)は使用しない。

6.4 本文中での文献引用

文献引用に際しての et al. [ラテン語の省略]の使用は、本文中でも一般的に受け入れられている

— 1) 原則  
 本文中に引用された文献はすべてリストに入れる。  
 リストに入っている文献は本文中に引用された文献に限る。

引用順に上付番号で示さない

— 2) 本文中では、カッコで括り著者名と出版年で引用 (name-year system) する。3 名以上の場合 et al. を使用する。

... (Smith et al., 2003a, 2003b; Smith and Smith, 2004; Smith, 2005). ...

— a 文献が複数の時は年代順にする。

... (Edwards, 2001; Kobayashi et al., 2003; Spargo and Manners, 2004; Weinstein, 2005). ...

— b 同年の文献が複数の時は著者のアルファベット順にする。ただし発表順にしたい時は著者の希望に添う。

Smith (2003) reported that ...  
 Smith and Smith (2004) reported that ...  
 Smith et al. (2005a) reported that ...

— c 文中で著者名を主語などとする時は、著者数 (1, 2, 3 名以上) によって文法上正しく表記する。

7 Acknowledgements

謝辞では肩書、所属については省略形を使用しない。  
 Grant に関する表記は改行する。

8 References

本文中の引用法については 6.4 参照。

8.1 name-year 引用法

- 1) 著者名のアルファベット順とする。
- 2) 単独著は発表年順に引用する。
- 3) 共著のものは、第 2 著者名またはそれに続く著者名の順に引用する。
- 4) 同一著者による同年次の文献は年次のあとに a, b, c ... といれる。共著の場合第 1 著者だけが同じでも同様にする。

Committee of ..., The. などとする

— 5) 団体名に the/The がある場合 その後の文字のアルファベット順とする。

## 8.2 et al.の使用

著者または編者が6人を越える場合, 7人目の名前以降は et al. とする .

## 8.3 書誌的事項のタイピング

同じものでも省略しないで繰り返す .

主題の後の副題は小文字で始める .

句読点の打ち方は最近号を参照のこと .

— 2005;43:231-238 など、頁の始まりと終わりをすべて打つ .

— Risk factors for death . . . : a 3-year prospective cohort study

## 8.4 雑誌名の省略

- 1) 雑誌名の省略は現行の MEDLINE (Pubmed)方式に従う . 旧式のものとは混用しない .
- 2) 一個の単語からなる欧文誌名は省略しない .
- 3) 略を示すピリオドは付さない .
- 4) 本誌の略は Yonago Acta Med とする .
- 5) 和雑誌は MEDLINE (Pubmed)方式に従い誌名を略さずにローマ字化し, 最後に(in Japanese) または(in Japanese with English abstract)を付す .
- 6) ローマ字はヘボン式で表記する .
- 7) 和雑誌名をローマ字する際, MEDLINE (Pubmed)方式の文節法を取る . Table 5 を参照する .

## 8.5 文献記載要領

- 1) 標準的雑誌論文の場合 — Bernstein H, Gold H. Sodium diphenylhydantoin in the treatment of recurrent arrhythmias. JAMA 1965a;191:695-699.
- 2) 団体・組織が著者の時 — The Royal Marsden Hospital Bone Marrow Transplantation Team. Failure of syngeneic bone-marrow graft without preconditioning in post-hepatitis marrow aplasia. Lancet 1993b;341:242-244.
- 3) 巻の補冊(サプリメント)の場合 — Gardos G, Cole JO, Haskell D, marby D, Paine SS, Moore P. The natural history of tardive dyskinesia. J Clin Psychopharmacol 1988;8(4 Suppl):31S-37S.
- 4) 号の補冊の場合 — Magni F, Rossoni G, Berti F. BN-52021 protects guinea-pig from heart anaphylaxis. Pharmacol Res Commun 1988;20 Suppl 5:75-78.
- 5) 単行本全体を引用する場合 — Colson JH, Armour WJ. Sports injuries and their treatment. 2nd rev ed. London: S Paul; 1986.  
Diener HC, Wilkinson M, eds. Drug-induced headache. New York: Springer-Verlag; 1988.  
Virginia Law Foundation. The medical and legal implications of AIDS. Charlottesville: The Foundation, 1987.  
Criteria Committee of the New York Heart Association: Disease of the heart and blood vessels. Nomenclature and criteria for diagnosis. 6th ed. Kossman CE, chairman. Boston: Little; 1964.
- 6) 単行本の一部を引用する場合 — Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In: Sodeman WA Jr, Sodeman WA, eds. Pathologic physiology: mechanisms of disease. Philadelphia: Saunders; 1974. p.457-472.
- 7) シリーズもの . 雑誌と同様に扱う .
- 8) 日本語文献の引用 . — Matsuda S, Domon H, Kaneko A. [Our management system in pregnancy: the pregnogram of the Hokkaido University method.] In: Suzuki M, ed. Ninpu kanri no subete. Tokyo: Nankodo; 1972. p.195-203 (in Japanese).
  - a 著者名はヘボン式でローマ字表記するが, 独自の綴りは尊重する .
  - b 表題は[ ]でくくった英語とする .
  - c 本, 雑誌の題名は, ヘボン式でローマ字表記する(Table 5 参照) .
  - d 最後に(in Japanese または in Japanese with English abstract)を追記する .

English abstract がなく和文論題を自家訳する場合, 例のように[ ]で括る .

- 9) オンライン資料を引用する場合、合衆国立医学図書館 (NLM) (MEDLINE 発行元) 推奨のスタイルとする。

## 9 Tables

表のタイピングは double space にしない

- 1) 各表は表題・脚注と共に 1 枚の用紙にタイプする。文献リストに続け、連続したページナンバーを付す。
- 2) 縦の罫線は付さない。横の罫線もできるだけ少なくする。
- 3) 表は、印刷頁に収まる大きさとする。幅は 1 段幅(80 mm)以内または 2 段幅 + 段間幅(166 mm)以内とする。縦は説明文の行数を含め 224 mm 以内とする。できるだけ頁を横に使わない。
- 4) 数的データには必ず単位を付す。繰り返しを避ける工夫をする。
- 5) 本文内で使用しない略語を表中で使用してもよいが、各表中の略語はすべて脚注で説明をする。

脚注記号は必ず欧文フォントを使う

* $P < 0.05$
** $P < 0.01$
*** $P < 0.001$

- 6) 表の脚注はデータ部分の下部に続けて打つ。脚注記号は以下の順とする。\*, †, ‡, §, ¶, \*\*, ††, ‡‡, §§, ...。脚注記号へ数字・文字は使わない。
- 7) 有意差を比較する場合、asterisk の数でレベルを示す。有意差の比較がある場合は、脚注記号は † (dagger) から使用する。
- 8) 本文余白に各表の挿入箇所を指定する。本文中で引用する時は Table 1, Tables 2 and 3 のようにする。

## 10 Legends for figures

References, Table(s)に続け、連続頁番号を振る

- 1) 説明文は各図の下または上にタイプしない。図と別に説明文だけをまとめてタイプする。
- 2) 図の記号の説明は、原則として説明文中に入れる。図中に描かない。
- 3) 各図の説明には短いタイトルを付してもよい。説明文は partial sentences で短くまとめる。
- 4) 本文内で使用しない略語を使用してもよいが、各図中の略語・記号はすべて規定する。
- 5) 染色法の記載は文末にする。
- 6) scale marker を写真内へ付す場合、説明文の文末へ Bar = 10  $\mu\text{m}$  などを加える。scale marker を付す場合、拡大率は示さない。

Fig. 1. ... (periodic acid-Schiff stain). など

Fig. 2. ... (hematoxylin and eosin stain). Bar = 5  $\mu\text{m}$ . など

## 11 Figures

- 1) 図は原則として希望印刷サイズ(原寸)で提出する。幅は 1 段幅(80 mm)以内または 2 段幅 + 段間幅(166 mm)以内とし、なるべく 1 カラム(1 段)に収める。縦は説明文の行数を含め 224 mm 以内とする。できるだけ頁を横に使わない。
- 2) 各図はそれぞれ別の用紙に描く。組写真の場合は貼りつける。
- 3) 図中の記号はできるだけ次から使う：黒丸・白丸、バツ、黒四角・白四角、黒三角・白三角。

記号は作成する。または記号用欧文フォントを使用する

図中の最小文字は1.0 mmないし1.2 mmより小さくならないよう配慮する。

見出しの文字:縦軸、横軸での見出しは10-12ポイント程度

目盛の数字:目盛の数字は7-8ポイント程度でバランスよく処理する。

- 4) 明瞭な写真に限る。不用な部分はできるだけカットする。
- 5) 顕微鏡写真では scale markerを写真内に付す。説明文中にoriginal magnificationを示さない。
- 6) 組写真・図の場合、数字かアルファベットの番号をつける。
- 7) 図では余白に、写真では裏面に、著者名、番号、上下指定を記入する。
- 8) 組写真でなければ台紙に貼らなくてよい。台紙はやや厚手の普通紙でよい。
- 9) 本文左の余白に各図の挿入箇所を指定する。
- 10) 本文で引用する時はFig.1, Figs. 2a and b, Figs. 3-6などとする。文頭およびパラグラフの頭ではFigure 1, Figures 2 and 3のようにする。

## 12 略語 (abbreviations)

### 12.1 原則

本誌で使用を認めている略語は規定せず使用する。

当誌使用略語リスト = Tables 1-4:  
pp. 10-12

NOT "sodium (Na)"; BUT "Na"

NOT "3 milliliters (mL)"; BUT "3 mL"

- 1) 化学記号(standard scientific symbols)は初出時に規定しない
- 2) 数字の後に来る度量衡の単位は初出時も省略形を使う。
- 3) 単位の表記はInternational System of Units (SI 方式)に従う (Tables 2 and 3) .ただし、血圧はmmHgを使う。

### 12.2 使用方針

できる限り控える。短い言葉、そう長くない言葉は略さない。

One wordは略語にしない。

一度しか使わない言葉は綴る。

略語は頻出時の便を図るため使用する

- 1) Central nervous system, red blood cells, extracellular fluid のような句は略さない。
- 2) ラテン語の省略について、英語で置き換えられるものは英語で書く。  
e. g. = for example; vis. = namely;  
et al. = and others/and coauthors/and colleagues/and coworkers .  
ただし、文献引用に際しては文中でも便宜上et al. を使用してよい。

### 12.3 Title とabstract

略語の使用は避ける。Titleで略語を使用したい時は、次の様式による。abstractで再度規定する。

- 1) MOPP, a chemotherapeutic regimen for the treatment of Hodgkin disease.
- 2) Hepatitis B virus (HBV)

### 12.4 規定の仕方

大部分の読者がよく知っている場合に使用し、初出時に丸カッコで規定する。

abstract は世界的に二次資料(冊子体・電子資料共)として提供するため、本文と別個に考える。

- 1) 略語はabstractとtextで共通して使用する。規定はabstractとtextの各々とする。
- 2) 省略形と非省略形を混用しない(一度定義した後は、spell outしない)。図表中での使用については9-5)と10-4)を参照する。

- 3) イタリック体(斜体)とローマン体(非斜体)で意味が異なる化学記号は正しくタイプする。
- 4) 統計学上の記述スタイルはTable 4に沿う。  
SD, SEM (SE)は統計学上のシンボルではないが、本誌使用の略語リストに入れる。
- 5) 略語を複数形にするにはsを語尾に付す。単位の省略形では複数を示すsは付さない。  
省略を示すピリオドは付さない(ラテン語など慣例上付しているものは除く)。

## 12.5 著者使用略語リスト

投稿原稿の第一ページ下部へ著者使用略語のリストを付す。  
[Table 1の略語はこのリストへ入れない]

## 13 電子テキスト・オンライン投稿

電子テキストは以下の要領で提出する。  
電子メールへ添付する(オンライン投稿)が、適当なメディア交換媒体(USBメモリなど)の使用が望ましい。  
カラー画像はCD・USBメモリなどへコピーする。

### 13.1 本文・表の電子テキスト

- 1) ソフトが1種類の場合  
本文(Referencesまで)、表、図説明文をすべてワープロソフト(Microsoft Wordなど適宜)で作成の場合、原稿を一つのファイルとし、ファイル名へ拡張子を付す。
- 2) ソフトが複数の場合  
本文をワープロソフト、表を表ソフトで作成の場合、原稿をソフトごとのファイルへ分け、ファイル名へ拡張子を付す。

### 13.2 図の電子テキスト

グラフ・線画は写真として処理しない。

- 1) グラフ・線画の電子テキストを提出する。ファイルサイズを考慮し、大きい場合はFig\_1.ppt, Fig\_2.pptなど分ける。ファイル名へ拡張子を付す。
- 2) 写真\*は投稿時に、白黒・カラー共に電子テキスト(DTPの関連上、tiff画像が望ましい)を提出する。  
\* この場合、PowerPointなどのソフトで処理していないもの。  
PowerPointから別保存するのなら jpeg形式がよい。
- 3) カラー写真は、印刷所へ印画紙を入稿するため、電子テキスト(RGB形式)と印画紙(CMYK形式)の色味を前もって調整し、投稿時には準備済みとする。査読・印刷のため提出する。
- 4) 組写真の場合、まず一枚ずつ焼き付け配置、組写真とする。電子テキストとするのはその後がよい。  
電子テキストとして処理後印画紙へ焼き付けると、色味が異なってきたり、ピントがぼけたりするためよく確認する。
- 5) 白黒写真は電子テキストでの提出でよい。ただし病理写真は印画紙で提出する。
- 6) 電子テキストの解像度は 白黒画像は260 dpi, カラー画像は300 dpi以上とする。  
[出来上がりオンライン版の解像度は72 dpiだが、電子テキスト提出時には上記の解像度とする]

## 【付録】

Table 1. List of abbreviations used without definition in Yonago Acta medica

ACTH	adrenocorticotrop(h)ic hormone
ADP	adenosine 5'-diphosphate
AMP	adenosine 5'-monophosphate
ATP	adenosine 5'-triphosphate
ATPase	adenosine triphosphatase
cAMP	cyclic AMP
cDNA	complementary DNA
DNA	deoxyribonucleic acid
EDTA	ethylenediaminetetra-acetic acid
EGTA	ethyene glycol bis( $\beta$ -aminoethylether) <i>N,N,N',N'</i> -tetraacetic acid
FAD	flavin adenine dinucleotide
FADH <sub>2</sub>	reduced form of FAD
GDP	guanosine 5'-diphosphate
GMP	guanosine 5'-monophosphate
GTP	guanosine 5'-triphosphate
Hb	hemoglobin
HEPES	4-(2-hydroxyethyl)-1-piperazineethanesulfonic acid
LD <sub>50</sub>	median lethal dose (lethal for 50% of test subjects)
ln, log <sub>e</sub>	natural logarithm
log	logarithm
mRNA	messenger RNA
NAD	nicotinamide-adenine dinucleotide
NAD <sup>+</sup>	oxidized form of NAD
NADH	reduced form of NAD
NADP	NAD phosphate
NADP <sup>+</sup>	oxidized form of NADP
NADPH	reduced form of NADP
PAGE	polyacrylamide gel electrophoresis
PCR	polymerase chain reaction
pH	negative log of hydrogen-ion concentration
P <sub>i</sub> , PP <sub>i</sub>	inorganic phosphate, inorganic pyrophosphate
pK	negative log of dissociation constant
polyA	poly(adenylic acid) or polyadenylate
RNA	ribonucleic acid or ribonucleate
RNase	ribonuclease
rRNA	ribosomal RNA
SD	standard deviation
SDS	sodium dodecyl sulfate
SEM, SE	standard error of the mean, standard error
Tris	tris(hydroxymethyl)aminomethane
tRNA	transfer RNA
UDP	uridine 5'-diphosphate
UMP	uridine 5'-monophosphate
UTP	uridine 5'-triphosphate
UV	ultraviolet

Table 2. SI prefixes, prefix symbols and the recommended factors they represent

Factor	Prefix	Symbol
10 <sup>1</sup>	deca	da
10 <sup>2</sup>	hecto	h
10 <sup>3</sup>	kilo	k
10 <sup>6</sup>	mega	M
10 <sup>9</sup>	giga	G
10 <sup>12</sup>	tera	T
10 <sup>15</sup>	peta	P
10 <sup>18</sup>	exa	E
10 <sup>-1</sup>	deci	d
10 <sup>-2</sup>	centi	c
10 <sup>-3</sup>	milli	m
10 <sup>-6</sup>	micro	$\mu$
10 <sup>-9</sup>	nano	n
10 <sup>-12</sup>	pico	p
10 <sup>-15</sup>	femto	f
10 <sup>-18</sup>	atto	a

Table 3. SI and relatd units applied in medical sciences in Yonago Acta medica

LENGTH	m	meter
SURFACE AREA	m <sup>2</sup>	squaremeter
VOLUME	L	liter
TEMPERATURE	°C	degree Celsius
MASS (WEIGHT)	g	gram
TIME	d	day
	h	hour
	min	minute
	s	second
POWER	W	watt
ENERGY	N	newton
	J	joule
FREQUENCY	Hz	hertz
CATALYTIC ACTIVITY	kat	katal
PRESSURE	Pa	pascal
SUBSTANCE CONCENTRATION	mol/L	mole per liter
	M	molar
DOSE EQUIVALENT	Sv	sievert
ABSORVED DOSE	Gy	gray
ACTIVITY	Bq	becquerel
EXPOSURE	C/kg	roentgen
OTHER UNITS	A	ampere
	bp	base pair
	bpm	beats per minute
	cpm	counts per minute
	Da	dalton
	K	degree absolute
	eq	equivalent
	F	farad
	G	gaus
	kb	kilobase (pair)
	Ω	ohm
	rpm	revolutions per minute
	S	Svedberg (10–13 s)
	V	volt
	THERMODYNAMIC TERMS	ΔG
	ΔH	enthalpy change
	ΔS	entropy change
PHYSICAL AND CHEMICAL QUANTITIES	A	absorbance
	g	acceleration of gravity
	D	diffusion coefficient
	K	equilibrium constant
	K <sub>m</sub>	Michaelis constant
	s	sedimentation
	s	sedimentation coefficient
	[α] <sup>t</sup>	specific rotation
	M <sub>r</sub>	relative molecular mass
	R <sub>f</sub>	retardation factor

Table 4. Statistical symbols

Term	Symbol
variable in a population	$X, Y, \dots$
particular value	$x, y, \dots$
population size	$N$
sample size	$n$
probability	$P$
chi-square distribution	$\chi^2$
$t$ -distribution (Student)	$t$
$F$ -distribution	$F$
coefficient of correlation in a sample	$r$

Table 5. Japanese selections from the list of journals indexed for MEDLINE users

---

Arerugi  
 Arukoru Kenkyu To Yakubutsu Ison  
 Eisei Shikenjo Hokoku  
 Fukuoka Igaku Zasshi  
 Gan To Kagaku Ryoho  
 Hinyokika Kiyo  
 Hokkaido Igaku Zasshi  
 Igaku Kenkyu  
 Jikken Dobutsu  
 Kaibogaku Zasshi  
 Kaku Igaku  
 Kansenshogaku Zasshi  
 Kekkaku (Tokyo)  
 Kokubyo Gakkai Zasshi  
 Kokyu To Junkan  
 Kyobu Geka  
 Masui  
 Nippon Eiseigaku Zasshi  
 Nippon Ganka Gakkai Zasshi  
 Nippon Geka Gakkai Zasshi  
 Nippon Geka Hokan  
 Nippon Hinyokika Gakkai Zasshi  
 Nippon Hoigaku Zasshi  
 Nippon Igaku Hoshasen Gakkai Zasshi  
 Nippon Ika Daigaku Zasshi  
 Nippon Jibiinkoka Gakkai Kaiho  
 Nippon Jinzo Gakkai Shi (Tokyo)  
 Nippon Koshu Eisei Zasshi  
 Nippon Kyobu Geka Gakkai Zasshi  
 Nippon Kyobu Shikkan Gakkai Zasshi  
 Nippon Naibunpi Gakkai Zasshi  
 Nippon Naika Gakkai Zasshi  
 Nippon Rai Gakkai Zasshi  
 Nippon Ronen Igakkai Zasshi  
 Nippon Saikingaku Zasshi  
 Nippon Sanka Fujinka Gakkai Zasshi  
 Nippon Seikeigeka Gakkai Zasshi  
 Nippon Seirigaku Zasshi  
 Nippon Shokakibyō Gakkai Zasshi  
 Nippon Yakurigaku Zasshi  
 No Shinkei Geka  
 No To Hattatsu  
 No To Shinkei  
 Rinsho Byori  
 Rinsho Ketsueki  
 Rinsho Shinkeigaku  
 Ryumachi (Tokyo)  
 Sangyo Igaku  
 Sangyo Ika Daigaku Zasshi (Kitakyushu)  
 Seikagaku  
 Seishin Shinkeigaku Zasshi  
 Shinrigaku Kenkyu  
 Tanpakushitsu Kakusan Koso  
 Uirusu (Kyoto)  
 Yakubutsu, Seishin, Kodo  
 Yakugaku Zasshi

MEDLINE 掲載紙は毎年選考のため実際と異なる場合があります。文節法の参考にして下さい。

## Organization of Tottori University Faculty of Medicine and related institutes, 2006

Tottori University

### Graduate School of Medical Sciences

Medical Sciences—Physiology, Pathology, Social Medicine, Internal Medicine, Surgery  
Life Sciences  
Health Science  
Institute of Regenerative Medicine and Biofunction

#### Department of Biomedical Science

Division of Molecular Genetics and Biofunction  
Division of Integrative Bioscience

#### Department of Genetic Medicine and Regenerative Therapeutics

Division of Molecular and Genetic Medicine  
Division of Regenerative Medicine and Therapeutic

Faculty of Medicine *[next page]*

### Clinical Departments

#### Internal Medicine

Cardiovascular Medicine  
Endoscopic and Metabolic Medicine  
Clinical Immunology  
Gastroenterology and Hepatology  
Hematology  
Nephrology  
Respiratory Medicine  
Infection Allergy and Immunology  
Medical Oncology  
Neurology  
Gerontology

#### Psychiatry and Psychosomatic Medicine

#### Pediatrics

#### Surgery

Digestive Surgery  
Breast Surgery  
Endocrine Surgery  
Thoracic Surgery  
Cardiovascular Surgery  
Orthopedic Surgery  
Dermatology  
Urology  
Ophthalmology  
Oto-Rhino-Laryngology  
Radiology  
Women's Medicine  
Anesthesiology  
Oral and Maxillofacial Surgery  
General Pharmacotherapeutics  
Pediatric Surgery  
Plastic and Reconstructive Surgery  
Emergency and Disaster Medicine  
Neurosurgery  
Neuropediatrics  
Rheumatology  
Clinical Genetics  
Pain Clinic  
General Clinics for Outpatients

Tottori University Hospital

### Division of Pharmacy

### Division of Nursing

### Clinical Facilities

Division of Blood Transfusion  
Division of Clinical Laboratory  
Clinical Radiology Division  
Division of Clinical Supplies  
Division of Emergency Medicine  
High and Intensive Care Unit  
Division of Maternity Services  
Medical Informatics Division  
Operating Room Division  
Pathology Division  
Rehabilitation Division

### Central Clinical Utilities

Endoscopic Surgery Training Section  
Endoscopy Section  
Hemodialysis Section  
Hyperbaric Oxygen Therapy Section  
Psychotherapy Section  
Ultrasonography Section

### Research Center for BioScience and Technology

Division of Functional Genomics  
Division of Functional Radiation Science  
Division of Laboratory Animal Science  
Division of Instrumental Analysis



Faculty of Medicine

School of Medicine

School of Life Sciences

School of Health Science

Major in Nursing

Major in Clinical Laboratory Science

Institute of Neurological Sciences

Department of Functional, Morphological and Regulatory Science

- Division of Genomic Morphology
- Division of Morphological Analysis
- Division of Integrative Physiology
- Division of Adaptation Physiology

Department of Microbiology and Pathology

- Division of Organ Pathology
- Division of Molecular Pathology

Department of Microbiology and Immunology

- Division of Bacteriology
- Division of Virology
- Division of Medical Zoology

Department of Social Medicine

- Division of Environmental and Preventive Medicine
- Division of Health Administration and Promotion
- Division of Legal Medicine
- Division of Medical Environmentology
- Division of Medical Science in Sports and Exercise

Department of Pathophysiological and Therapeutic Science

- Division of Medical Biochemistry
- Division of Molecular Pharmacology
- Division of Pharmacotherapeutics
- Division of Radiology
- Division of Clinical Laboratory Medicine

Department of Multidisciplinary Internal Medicine

- Division of Molecular Medicine and Therapeutics
- Division of Medicine and Clinical Science
- Division of Internal Medicine and Molecular Therapeutics
- Division of Neuropsychiatry
- Division of Pediatrics and Perinatology

Department of Surgery

- Division of Surgical Oncology
- Division of Organ Regeneration Surgery
- Division of Urology
- Division of Reproductive-Perinatal Medicine and Gynecologic Oncology
- Division of Anesthesiology and Critical Care Medicine
- Division of Emergency and Disaster Medicine

Department of Medicine of Sensory and Motor Organs

- Division of Orthopaedic Surgery
- Division of Dermatology
- Division of Ophthalmology and Visual Science
- Division of Otolaryngology, Head and Neck Surgery
- Division of Oral and Maxillofacial Biopathological Surgery

Department of Molecular and Cellular Biology

- Division of Molecular Biology
- Division of Molecular and Cell Genetics
- Division of Immunology
- Division of Human Genome Science

Department of Biomedical Sciences

- Division of Biosignaling
- Division of Pathological Biochemistry
- Division of Neurobiology

Department of Adult and Elderly Nursing

Department of Fundamental Nursing

Department of Nursing Care Environment and Mental Health

Department of Women's and Children's Family Nursing

Department of Biological Regulation

Department of Pathobiological Science and Technology

Department of Neurology

Department of Neuropathology

Department of Neurosurgery

Department of Child Neurology